

平成 28 年度 公益財団法人日本拳法会第 4 回定例部長会 議事録

日 時：平成 28 年 11 月 12 日（土）午後 14 時 00 分開会 午後 16 時 30 分閉会

場 所：あべのスポーツセンター会議室

出席者：【会長】茂野直久

【副会長】藤川義人

【局長】（渉外）片山善文（地域統括）山本隆造（事業）上田武司

【部長】（総務）山本一秀代理 西村尚雄（渉外）井尻丈士

（企画・開発）高田秀信代理 小門政明（国際）岩尾勤

（広報）肥田玄三（技術）川端幹夫（経理）篠崎正

（事業第一）内田義春（事業第二）竹中洋一（事業第三）松本良朗

【競技連盟部長】（社会人連盟）石田修代理 川岸正典（学生連盟）藪達敏

（高校連盟）橋岡典昭（少年連盟）小泉賢一郎（実業団連盟）真田直彦

【府県連盟部長】（大阪）山尾英一（奈良）撫養義朗（兵庫）桐田清（京都）村山守

【昇段級審議会副議長】深山陽生

【審判団長】高信志（団長補佐）中本義信

【監査】佐藤賢治

【書記】（総務委員）西村尚雄

部長会規定に基づき部長会の成立の旨、総務部長代理より報告。

部長会規定に基づき、茂野会長が議長となり議事進行。

○議題

1. 会員制について

・高田企画部長代理小門次長より会員登録制度案が発表された。

会員カードの統一や会員の範囲の設定等、不確定な点もあるので、対応策として、競技連盟なども巻き込み、また、部長会メーリングリストなどを利用し多くの声を反映していくことで、来年度 4 月 1 日からの実施を目指していく。

○報告

1、総合選手権について

・肥田広報部長より、本年度、総合選手権は成功裡に終わったとの報告があった。来年度の総合選手権は個人戦のみで、9 月 24 日の開催を予定している。

総合選手権の反省会を後日開催するよう要望があった。

2、本年度全日本実業団矢野文雄杯について

・真田実業連盟団部長より本年度、全日本実業団矢野文雄杯の開催について報告があった。

参加団体が少なく、40 代、50 代からの参加を募るため、今年度より型試合を実施したいとの報告がされた。

実業団連盟の活性化の為、以前、参加していた自衛隊、府警、各県警のチームへ大学卒業生（OB）等を通じて声掛けをしていき参加団体を増やすこと、部長会メンバーは実際に大会に足を運び、各自で問題意識を持つように会長より提案された。

3、人口増加委員より

・山本地域総括局長より人口増加委員会の活動について報告があった。

学生連盟の競技人口について、大学数は減っているが、西日本の学生の競技人口は 2015 年から 2016 年と増加している。現在、中間報告のまとめを作成し発表する予定であると報告された。

また、各大学の新入部員勧誘のセミナーの要点を提供するので、リーダーズキャンプにて情報を共有して役立ててほしいとの要望があった。

・競技人口の底上げのため、道場を強化する案が提案された。

・佐藤監査より、少年の股あての改良や、人口増加委員会は現在、2か月に1回開催されており興味のある人間は見学に出席してほしいと発言があった。

4、倫理懲戒規定について

・藤川副会長より倫理・懲戒規定案が発表された。部長会メーリングリストを使用し、各自が意見を出し合い、年内に内容をまとめ上げてゆき、来年度4月1日施行を目指すことが報告された。

5、来年度ロシア選手代の招聘について

・岩尾国際部長より、来年度の総合選手権のロシア選手団の滞在費は外務省が負担するとの報告がされた。

6、少年連盟より

・少年用股あての改良についてサイズを小さくすることによって対応していくとの報告がされた。
・少年級検討委員会は当初の目的を達成したので解散するとの報告がされた。

その他① 経理部より定例経理報告

・篠崎部長より経理報告がなされた。

閉会

以上（書記 西村尚雄）

平成28年11月12日